

特定保守管理医療機器

ルームサンソα

【警告】

適用対象（患者）

- *・酸素流量・吸入時間は、必ず医師の処方及び指示に従うこと。
- *・鼻カニューラや延長チューブを折り曲げたり、ねじったり、潰したりしないこと。

【禁忌・禁止】

適用対象（患者）

- *生命維持のために酸素吸入を必要とする患者には使用しないこと。

併用医療機器

- **人口呼吸回路と接続しないこと。

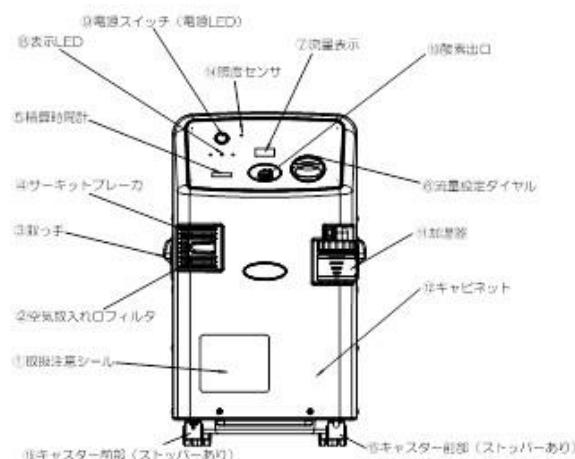
使用方法

- *・装置に衝撃を与えないこと。
- *・煙草・線香等を含む火気を、装置の周囲 2m 以内に近づけないこと。

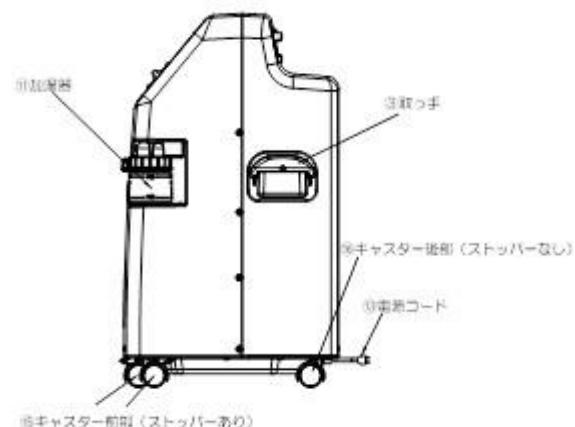
【形状・構造及び原理等】

形状

正面図



側面図



機能

	名称	機能
1	取扱注意シール	*装置の取扱注意事項を記載
2	空気取入れ口フィルタ	取り入れる空気の防塵
3	取っ手	*持ち運ぶ際に持つ部分
4	サーキットブレーカ	*過電流供給時に電源供給を遮断する
5	積算時間計	*装置の作動時間を表示
6	流量設定ダイヤル	*酸素流量を設定する
7	流量表示	*流量設定ダイヤルで設定された流量を表示する (L/分)
8	表示 LED	*装置の状態を表示する
9	電源スイッチ (電源 LED)	*電源の入/切を行う
10	酸素出口	*酸素の出口
11	加湿器	吸入酸素の湿度向上
12	キャビネット	内部部品の保護
13	*電源コード	*電源を供給する
14	照度センサ	周囲の明るさに合わせて各種 LED の明るさを調整
15	キャスター前部 * (ストッパーあり)	*移動及び固定用
16	キャスター後部 * (ストッパーなし)	*移動用

付帯機能

アラーム

	状態	アラーム	対処
1	酸素濃度が低下したとき	0%以上 82%未満	黄 LED 点滅 *加湿器が取り付けられているか確認する
		70%未満が10分間以内	赤 LED 点滅 *加湿器の蓋が緩んでいないか確認する 装置を停止し、緊急連絡先へ連絡する
		70%未満が10分間以上継続	赤 LED 点灯 警報音の発生
2	鼻カニューラが30秒間継続して閉塞したとき	緑 LED 点灯 黄 LED 点滅 警報音の発生	鼻カニューラが潰れたり折れたりしていないか確認する
3	電源が異常に低下したとき	警報音の発生	電源コードが抜けていないか確認する

作動・動作原理

*室内の空気を空気取入れ口フィルタでろ過し、冷却ファンで装置の内部に送り込む。空気の一部は2次フィルタを通過して油気のないコンプレッサへと送られる。圧縮された空気はエアタンクに貯蔵され、バルブを経由して、窒素を選択的に吸着する吸着剤を充填した吸着塔に導かれる。吸着塔に送り込まれた圧縮空気は吸着塔内で窒素が吸着され、分離された濃縮酸素はバイオフィルタを介して圧力調整レギュレータを経由して酸素出口へと導かれる。

取扱説明書を必ずご参照ください。

れる。なお、吸着塔内で吸着された窒素はバルブにより吸着塔内が均圧化され、排気フィルタを経由して残留気体として排出される。

仕様

寸法 : 350×370×650 (mm) (突起物は除く)

重量 : 26kg

構成

本体		1台
附属品	加湿器	1個
	空気取入れファイル	1個
オプション	延長チューブ	1本
	延長チューブコネクタ	1個
	鼻カニューラ掛け用フック	1個
	付属用クリアケース	1個
	装置下敷きマット	1枚

【使用目的又は効果】

周囲の空気から窒素を分離し、高濃度の酸素を患者に提供する。

【使用方法等】

設置方法

- 1.振動が激しい所や傾いている所等不安定な場所に設置しないこと。[装置が正常に動作しなくなる恐れがある為]
- 2.カーテン等で空気取入れ口を塞がないように注意すること。[性能が低下する恐れがある為]
- 3.設置する際は壁や箪笥等から 15cm 以上は離し、密着させないこと。
- 4.気圧・風・日光・埃・塩分・煙・汚染された空気・化学薬品やガスを含んだ空気等により悪影響を受けない場所、乾燥した換気の良い場所、常温で清潔な場所に設置すること。

組立方法

- 1.鼻カニューラのチューブを酸素出口に十分にさし込む。
- 2.加湿器に蒸留水又は精製水を入れる。
- 3.加湿器の蓋をしっかりと閉め、取り付け部にカチッと音がするまで差し込む。(加湿器は必ず取り付けること。)

使用方法

- *1.電源スイッチを入れる。(5 分間のウォーミングアップ終了後、全ての LED が瞬時に点灯し、緑 LED 点灯)
- 2.流量設定ダイヤルで医師に処方された酸素流量に合わせる。
- 3.鼻カニューラの先端を水の入ったコップ等に入れ酸素が出ていていることを確認する。
- 4.鼻カニューラを装着し、通常の鼻呼吸をする。

再使用のために必要な処置

- 1.鼻カニューラを外す。
- 2.流量設定ダイヤルを 0 に設定する。
- 3.電源スイッチをオフにする。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・油やグリース、石油製品等を装置の近くで使用しないこと。
- ・当社指定の付属品及びオプションを使用すること。
- ・装置付近では電気製品や携帯電話を使用しないこと。
- ・緊急用として満量の酸素ボンベを常に備えること。
- ・装置に水やその他液体がかからないように注意すること。
- ・装置の上にものを置かないこと。
- ・流量表示が正しく表示されていることを確認すること。
- ・電源が切れていたり、鼻カニューラが外れていたりするこがないように注意すること。
- ・電源コードの取り外しの際は、コードを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。
- ・延長コードは使用しないこと。

- ・電源 OFF にしてから 5 分以内は ON にしないこと。
- ・運転中は加湿器を取外さないこと。

不具合

装置が正常に動作していないと思われるときや、酸素濃度低下のアラームが発生したときは、取扱説明書の「9.トラブルシューティング」の対処方法を確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- ・水のかからない場所に保管すること。
- *・振動が激しい所や傾いている所等不安定な場所に保管しないこと。[装置が正常に動作しなくなる恐れがある為]
- ・気圧・風・日光・埃・塩分・煙・汚染された空気・化学薬品やガスを含んだ空気等により悪影響を受けない場所、乾燥した換気の良い場所、常温で清潔な場所に保管すること。
- *・温度-5~40°C、相対湿度 95%以下 (結露なきこと)

耐用期間・使用期間

6 年 (当社データからの自己認証によ)

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- ・装置の表面は、常に清潔な状態を保つよう、乾いた清潔な布で拭く。
- ・空気取入れ口フィルタは埃等の詰まり具合に応じて、掃除機等で清掃する。[フィルタに埃等が詰まると空気の吸入が悪くなり、性能が落ちる可能性があるため。] なお、1 週間に 1 回は食器用洗剤等で水洗する。水洗いしたフィルタは完全に乾いてから装置に取り付ける。
- ・加湿器は薄めた食用洗剤等で洗浄するか、煮沸消毒を行う。ただし、キャップ部分は煮沸洗浄を行わないこと。
- ・加湿器内の精製水は毎日交換する。また、加湿器の下限の線まで水量が減ったら随時補給する。補給の際には上限の線を超えないこと。
- ・鼻カニューラは汚れに応じて、先端の穴を綿棒等で洗浄し、陰干しして十分乾かす。

業者による保守点検事項

- ・部品チェック及び交換
- ・性能検査
- ・外観、クリーニング

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業 : 日本ルフト株式会社

**住所 : 東京都千代田区神田錦町 2-7-5

**電話番号 : 03-3518-2001

**製造業者 : 日本ルフト株式会社

**メディカルサービスセンター

**住所 : 埼玉県さいたま市南区内谷 7-2-1

電話番号 : 048-839-0622

取扱説明書を必ずご参照ください。